



なのみ通信

令和6年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 5月7日 第3号

自ら楽しみを創る子どもの育成

4月26日(金)、歓迎遠足・集会を行いました。6年生のお兄さん、お姉さんに手を引かれて歩く1年生。思い出に残る楽しい一日となりました。



学びを楽しむ子どもをめざして!

先月の学習参観・集会では、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございました。さて、令和6年度がスタートして1ヶ月。新しい学年での期待と決意を胸に秘め、学習にも意欲的に取り組んでいます。先週1年生の教室を訪問すると、背筋をピンと伸ばし、前を向いて、しっかり学習に向かっている1年生の姿に、この1ヶ月間の子どもたちの成長を感じ、とてもうれしくなりました。学習が「分かる・できる」楽しさ、「友だちと一緒に学ぶ」楽しさを目標に「学びを楽しむ子ども」を育てていきたいと思っています。



姿勢を整え、学びに向かう1年生(5/1)

なのみ「会話のあいいうえお(PTA version)」を実践しよう!

令和6年度 PTA 活動の努力点として、「なのみ 会話のあいいうえお(PTA version) を実践しよう。」が提案されました。この「会話のあいいうえお」は、子どもを取り巻く私たち大人が、子どもとの関わり中で大切にしていきたい実践目標です。「ありがとう」や「いいね」の言葉かけは、子どもたちの自信につながり、うなずいて話を聴いたり、終わりまで聴いたりすることは、子どもたちの安心感につながります。そして、みんなが笑顔になる会話は、子どもたちの安心や自信、そして様々なことに対する挑戦意欲にもつながるものと思います。ぜひ、「あいいうえお」の合い言葉で、子どもたちの自分への自信、自己肯定感を育てていけたらと思います。

なのみ 会話の **あいいうえお**
2024 PTA version

あ “ありがとう”をふやそう
い 「いいね!」たくさん褒めよう
う 「うんうん」うなずいて聞こう
え 笑顔になる言葉を使おう
お 終わりまで話を聞こう

「会話のあいいうえお」(PTA version) は、PTA 本部役員の皆さんで考えられ、PTA 活動の努力点として示されました。

ほめる

承認
ほめるとは、相手の価値を認めることであり、相手のやる気に大きな影響を与えます。

ほめるとは、子どもを評価することではありません。
子どものがんばり、成長を見つけて、その喜びを伝えていくことです!

①9割できてなくても、できた1割をほめていきましょう!
 ②すかさずほめていきましょう!
 ③人と比べずに、ほめていきましょう!
 ④自分の気持ちを具体的に伝えましょう!
 ⑤時には、失敗もほめてみましょう!
すぐに!具体的に!比べずに!

ありがとう
は最高のほめ言葉

「ほめる」
子どもたちは、基本的に、大人から、「3つのタイ」を求めています。それは、「ほめられたい」「認められたい」「役にたきたい」です。
この承認欲求が満たされたとき、「自分の気持ちを分かってくれる」「必要とされている」「やればできる」「自分のことが好きだ」等、肯定的な自己認識が育まれていきます。このような自己肯定感や自己有用感、学ぶ意欲の向上にもつながります。
本年度のPTA活動の努力点である「会話のあいいうえお」は、子どもを「ほめる」ことであり、今年一年意識して取り組むことができればと思います。
「ほめる」とは、「ほめる」ポイントなど、図で紹介していますので、参考にしてください。ければ幸いです。

